

日本住宅技術研究会の設立主旨

<設立の理念>

建築主のうれしい暮らしのために、出会いから、契約～工事～引き渡し、および入居後のフォローに至るまで、様々な段階に携わる企業が、相互に連携し協力することにより、住宅の品質（ソフト・ハード面の総合）を高め、建築主に対し安心満足の提供を行います。

そのために技術屋仲間として、メンバー相互間で技術研鑽・情報交換を行います。

<事業紹介>

日本住宅技術研究会は、住宅の建築に関する技術の向上や、入居後の快適性維持と共に、劣化により生じる問題の解決方法の対策・企画立案を行い、建築主・施工者共に良好な関係を継続させることを目的としたプロの技術屋集団です。

建築主と相談の上、実働部隊の紹介も行っています。

1. 建築主の納得できる設計提案の提供
2. 安心できる契約の情報提供、契約内容の確認
3. 施工技術に関する情報提供
4. 施工管理に関するチェック項目の確認
5. 完成住宅の確認
6. 外構工事の技術提供
7. 維持管理に関する技術提供
8. 問題解決の技術提供
9. クレーム解決の手段・方法の情報提供
10. 住宅技術者の教育・研修
11. 住宅の耐震診断及び耐震対処方法の技術提供

<日本住宅技術研究会のご案内>

日本住宅技術研究会 会長 玉水新吾

大規模建築物に関しては、建築業界においても最近の技術革新には目覚ましいものがあります。それでは住宅業界はどうでしょうか？

住宅の施工技術にも、様々な技術開発が行われておりますが、旧態依然として保守的であり、職人の技術に依存するところが多いものです。部材のユニット化、工場製品化、施工の機械化、施工工具の改善など、確かに改善されてきましたが、未だに雨漏りする住宅があるように、まだまだ改善すべきことが多くあるのも事実です。

住宅の技術が革新的に改善されない原因は、住宅は完成までの工程毎に職種が異なり、それらは強い関係が有るにも係わらず、総合的に改善されないからだと考えます。目が悪ければ眼科医に、風邪をひいたら内科には、その症状だけを見えています。人の健康はトータルで見る必要が有ります。

日本住宅技術研究会は、建築主に満足して頂き、安心・安全な住宅を末永く提供していきたいと考え、そのために住宅の段階毎の専門家が集まる技術屋集団として、住宅の総合病院を目指しています。技術屋仲間として、定期的かつ継続的に研鑽を行い、互いに情報提供を行います。

住宅を建てられるお客様・入居されたお客様の喜びを通じて、生産者側も共に喜びたいものです。

<事業予定>

1. 教育事業

- ①住まいの技術屋仲間として、定期的かつ継続的に技術研鑽・情報提供を行っていきます。
技術セミナー開催、新商品紹介、各種問題点相談、クレーム相談、訴訟相談などに対応します。
- ②建築主に適切なアドバイスを行っていきます。
住まいの各種セミナー開催、住まいの計画～メンテナンスに至る技術的相談、問題解決の技術的相談などに対応します。

2. 研究交流会

住まい創りを生業とする技術屋仲間同志で、知的な会話を楽しみながら、住まい創りの新提案・アイデアの開発・新工法の実験・顧客満足情報などを一緒に発信していきましょう。ときには、美味しいお酒という道具を使いながら。

3. 電子出版事業

経験豊富なプロの技術屋のノウハウ、住宅現場のクレーム事例、開催する各種セミナーの要旨、住宅専門雑誌にメンバーが投稿する原稿内容などをまとめていきます。